



聖徒のための情報誌

今月号の内容

- お盆を迎えるにあたって 新霊断師誕生！(1面)
- 一日伝道(2面)
- 暑中お見舞い(3面・4面)
- 日蓮大聖人の歩まれた道法華経のお話(5面)
- 全国のよろこびちゃんよろこび法話(6面)

平成26年(2014年)8月1日(金)

8月号

発行所
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町3-25-11
九段中央ビル702
日蓮宗霊断師会九段事務所
電話 03-6272-9340
FAX 03-6272-9341

日蓮宗霊断師会

会長 末吉 観道
編集人 松本 恵昌
購読料 1部 100円(税別)
毎月1回1日発行

日蓮宗霊断師会ホームページ
http://www.yorokobi-reidanshikai.jp
よろこび投稿メール
yorokobi@yorokobi-reidanshikai.jp

お盆を
迎えるにあたって



日蓮宗霊断師会 総務部長
北海道沙流郡平取町
照恵寺聖徒団团长
品田 祥 皓

の気持ちを持ち、冥福を祈りましょう。

お盆のいわれ

今年も早いもので、お盆の季節が来ました。地域によっては七月に迎えた方もいる事もあります。お盆を迎えられた皆さんはどのような心持ちで先祖さまを迎えたいでしょうか。これから迎えるお盆を身近なものとして考えてみましょう。

みんながそろってお盆

皆さんが一年の中で楽しみにしている休日と言え、ゴルフや釣り、お盆休み、正月休みなど、幾つか思い浮かべることができるといえます。特にお盆には多くの方が父母、親族の待つ実家に帰っているのではないのでしょうか。何にも勝る幸せと思う方もいると思います。実家ではいつも以上に忙しさを迎える、大変なのに「盆と正月がいつぱいに来た」と帰ってきた人をお客さんのように迎えてくれ、喜びの声を聞きます。昔から休日のことを「やぶ入り」と言いますが「やぶ入り」とは、奉公人や嫁がお盆と正月に休みをもらい、実家に帰る習慣であり、その日を言います。元来は先祖まつりの日として使われていたが、今では休日と意味を変えて使われています。お盆には「地獄の釜もあく」と言われ、生前中に悪いことを重ね、地獄に落ち、釜ゆでになっっている人も、一年に一度だけゆるされて自分の実家へ帰ることができると言われます。



「先祖様、生きています。私たちがそろって迎えるのがお盆なんです。」「きゅうりの馬」「なすの牛」をご用意し、先祖様に馳走を供え、感謝

「目連、おまえの母は物をおしめ、むさぼり求めた罪で餓鬼道に堕した。おまえの神通力をもつても母は救えない。まもなく修行を終えるお坊さんに「馳走を供養しなさい。その功德によって、母の罪は消え、餓鬼道から救われることができるだろう。」

このお盆と言う行事はお釈迦様の時代にさかのぼります。お釈迦様の弟子にすぎた神通力を持つ目連尊者と言う人がいました。修行を重ね、神通力を得た目連尊者はその神通力を使って、亡くなった母が今どこで過ごしているのかわからず死後の世界を探しました。先ずは仏様の世界、菩薩様の世界、目をこらして探しても母は見当たりません。順々に下の世界を見ていくと、なんと餓鬼の世界にいらだは骨と皮ばかりで腹はふくらみ、食べるものは食べられず、飲むものも飲めない、見るにもたえない姿で、苦しんでいる母を見付けました。目連尊者は神通力を使って、食べられるもの飲むものを母にとどけますが、母がそれを手に取ろうとすると大きな焔(ほのお)となり、何度繰り返しても母にとどけることができません。困った目連尊者はお釈迦様に母を救う方法をたずねます。



供養は私たちの大事な義務

お盆には先祖様に感謝と追善の供養をすることが大事です。「私たちは父母の物をゆずられていながら、死人だから何事のあるべきと思いつて、後生をとぶらわなかったならば、その霊は悪霊となつて子孫々にたたりをなす。」と涅槃経に説かれていた。父母からからだを与えられ、財産をゆずられた私たちがその父母の後生をとぶらわれないということは浮薄なことである。悲しむべし、あわれむべし。

「回向功德抄」

涅槃経に云く、閻魔王はある死人の生前中の行動を考えた後、そのからだへ四十九の釘をうった。先ず、目に二本、耳に二本、舌に六本、胸に十八本、腹に六本、足に十五本である。釘の長さは一尺(三十三センチ)也。ところがその死人には孝行息子がいて、父の菩提をとぶらうためにお坊さんを迎えにお

寺に行った。それを知った閻魔王は死人の足に打った十五本の釘をぬぎとった。

「回向功德抄」

供養の大事をお示しになった大聖人様からのお言葉です。この死人は孝行息子のさらなる供養により、すべての釘が抜かれ、その苦しみから救われました。私たちは父母から多くのものをゆずられました。父母もその父母から多くのものをゆずられました。その父母も...。それなのに死んだから、何もしない。後生を弔わない。それで、かわい子供や孫に「たたり」をしても当たり前です。亡くなった方への供養は私たちの義務であり、その行いは感謝の気持ちを表した姿です。大聖人様も常に両親に感謝の気持ちをお持ちでした。それはお亡くなりになるまで母上の髪をふところに入れておられたことからもわかります。今年のお盆は「今の自分があるのは父母のおかげ」と感謝の気持ちを持ち、ご先祖様を供養しましょう。合掌

新霊断師誕生！

日蓮宗霊断師会連合会が発足されて、初めての霊断師養成講習会が六月十日から十八日までの九日間、総本山身延山の智寂坊にて開催され、新霊断師十七名が誕生しました。早朝から夜遅くまでの厳しい日程の中、末吉観道会長始め、霊断院講師陣の熱心な講義を真剣な眼差しで受講され、十七名全員が晴れて会長より「霊断師の任命」を受けた。

「す」と誓いの言葉を述べ、九識断断法を以つて大衆を救済する新霊断師として全国へと羽ばたいて行った。



講義中の受講生

最後に受講生代表・齋藤上人が「この講習会で学んだ新日蓮断断法を基に断断法を駆使し、多くの檀信徒を聖徒に導き、上求菩提下化衆生の心を持ち精進しま

本井藤上 上野辺 寄原 田野 野藤 藤山 坂松 齋村 村奥 荻渡 片栗 戸廣 大小 工加 藤藤 小

妙正寺聖徒団 川村正義
旭川FMレールFMラジオ 837 8月18日 25日午前11時より
「マダムケロコ」のちよと長屋
インターネットでも聞ける
サイマルラジオから
旭川FMレールFMラジオをクリック

8月15日(金) 午前11時より
「お盆流し灯籠供養祭」
盂蘭盆大塔婆施餓鬼供養会

毎月1日午前10時 盛運祈願会

妙正寺聖徒団 团长 関 龍雄
〒071-1423
北海道川上郡東川町東町2丁目6-3
TEL 0166(82)2714 FAX 0166(82)2914



末吉会長より霊断師の任命

「東京都霊断師会・合同研修会」を開催
四月十六日、「東京都霊断師会・合同研修会」が東京都新宿区の感通寺を会場に開催されました。
この研修会は、同霊断師会の呼びかけで開催され、断断法・布教方法の研鑽・理解を目的として、東京都はじめ関東各県の霊断師約二十五名が参加しました。
講師として本部霊断院断断部長・石黒泰良講師をお迎えし、研修をしました。講義の内容は「九星気学・占術」などの

話を交えつつ「断断法」の魅力や実用方法から始まり、霊示表読み取りの応用、相談者への対応や指導にいたるまで、丁寧にご教授下さいました。
参加された霊断師からは、「今日は楽しかったです。実践に役立つ講義の内容で有意義な時間を過ごせました。定期的にこのような研修会や討論会を開催してほしい！」と感想が寄せられました。
東京都 林 重仁 通信員

津軽宇田山 間法寺
8月15日 午後2時より
「お盆流し灯籠供養祭」
毎月 最終日曜日「盛運祈願会」
〒030-1403
青森県津軽郡外ヶ浜町平館元宇田52-2
TEL 0174-25-2712
住 職 工藤 堯幸
副住職 工藤 堯興・修徒 工藤 堯顯

いかされるよろこび
美濃乃國
常唱寺 聖徒団
〒501-3734
岐阜県美濃市千畝町2738-2
TEL/FAX 0575(33)1430

本山 妙頭寺
天目聖人御報恩
平成屋根等大改修
ご寄付募集中！
●郵便振替
口座番号 00180-6-267327
口座名義 妙頭寺建設委員会
〒327-0843 栃木県佐野市堀米町264
TEL 0283-22-1524
FAX 0283-22-4194
http://www.sano-myoukenji.jp

日蓮宗霊断師会終身名誉会長
感通寺聖徒団团长
新聞 智雄
〒162-0044
東京都新宿区喜久井町39
TEL 03-3209-8782
FAX 03-3208-7966

感通寺
日蓮宗霊断師会終身名誉会長
感通寺聖徒団团长
新聞 智雄
〒162-0044
東京都新宿区喜久井町39
TEL 03-3209-8782
FAX 03-3208-7966

全国で一日伝道を開催!

広島県福山市壽泉寺「一日伝道」



蔵本知宏講師 (本部聖徒部長) による「一日伝道」

五月二十四日、広島県福山市壽泉寺聖徒団(根師哲朗団長)において、本部聖徒部長・蔵本知宏講師による「一日伝道」が行われました。

蔵本講師は、ご自身の貴重な体験談の中から、俱生神月守の有難さ、又、お守を着帯しお題目を信じる強き心を持つ事の大切さ、そしていつも見守って応援する家族の絆と感謝を、病気に侵されたご友人の娘さんの事例でお話し下さいました。

誰にでも起こりうる病のお話に聖徒の皆様も心打たれ、熱心に聴き入っておられ、感動の一日伝道でした。広島県 通信員 富安妙照

島根県「一日伝道」

五月一日〜三日、毎月の盛運祈願会に併わせ、島根県五方寺合同での一日伝道が行われた。講師は宮崎県龍雲寺吉田憲由師。

一日の午前には雲南市妙法寺(新聞信應団長)、午後より出雲市大慶寺(文谷孝順団長)。

二日には出雲市延福寺(梅木功健団長)。

三日には午前中に出雲市妙本寺(吉田亮善団長)、午後より出雲市為久寺(岡田法弘団長)と、休む間もなく五方寺にわたりおこなわれた伝道布教であった。

この三日間は毎日晴天に恵まれ、沢山の聖徒が各寺院にお参りをし、



吉田憲由講師 (本部出版課長) による「一日伝道」

吉田講師のユーモア溢れる、笑いあふ感動ありの講義に聴き入った。

吉田講師が一貫して話した内容は、仏さまや先祖さまは目には見えずとも必ず見守って下さっている。みんな一人ではなく繋がっているもの。それを知り、強く生きていくことが本場に大切なことである。

そのことに気付くために霊断法俱生神月守、毎月の盛運祈願会があるのだということであった。

吉田講師はこの度、自坊である宮崎県龍雲寺の本堂落慶をされ、その際様々な苦勞があったが、沢山の聖徒の助け、霊断法の助け、神仏の助けがありここまでこれたという実体験から、苦勞の中にも沢山の感謝があり、目には見えないが大切な繋がりがあふれ、必ず苦しみの中に救いがあるのだということをお話された。

妙本寺聖徒・小沢友三さんは「妙本寺も以前本堂を建て替えた時に大変な苦勞があったが、その時を思い返しながら話を聞いていて涙が出た。吉田講師には大切なことを教わった。」と話された。

身延大会に 行ってきました! その2



岩手県 狐鼻 利知子さん (六十九才)

身延大会には本年で三回目の参加です。今でも思い出するのは、三年前の東日本大震災です。私はあの震災で家と夫を亡くしました。

ご遺骨を預かっていただいたご縁で仙寿院様にお参りに行くようになり、住職上人とお話をすることができるようになったのが聖徒となるきっかけでした。

当時、夫も何もかも急に無くなり、どうやって生きて行けばいいのかわからず、絶望の中に次第に生きて行くのが嫌になっていました。

吉田講師は大好きであった自分の祖父、そして龍雲寺の前住職が亡くなってから後に自分のために沢山の想いを残してくれていたことへの感謝があり、目には見えずとも繋がっている、見守って下さっているのだということをお話された。

聖徒の方々、またその家族も一人ではなく繋がっているということを感じながら強く生きることが大切であると力強く願われ、各会場は感動に包まれていた。

大慶寺聖徒・渡部喜代志さんは「私はこの一日伝道に参加するようになってから何年も経ちますが、今回のお話は本当に心に響き感動した。大切な事を教わった。また家族にも伝えていきたい。」と話された。

最後に吉田講師は、毎日お守りをおかかず着帯し、毎月の祈願会にお参りすること、お題目修行をすること、見守って下さっていることをより強く感じ、信じていることができるのだと話し、今後の精進を願われた。

島根県 霊断師会 通信員 法恩寺内 橘 亮光

住職上人の励ましの言葉と法華經の教えを聞いて、信仰とともに笑顔で生きて行く決心をし、私の実家も夫の実家も他宗でしたが、反対されると思いつつも決心を伝えたところ、快く同意してくれました。

それ以来、仙寿院の檀家として、聖徒として生きております。毎月一日の祈願祭と身延大会が私の楽しみとなっております。

殊に身延大会は楽しく、そして有難い行事として命がある限り参加したいと思っております。

来年は第五十回の記念大会と聞きまして、今からは是非参加して笑顔で生きることの大切さを教えてくれた日蓮大聖人様に感謝の行いをしたいと思っております。私の姿を見て生きていることが辛くても笑顔を見せると幸せに生きて行くことが出来ると思っております。

よろこびちゃんの質問箱



よろこびちゃん

塔婆について教えて

塔婆という言葉は、サンスクリット語の「ストウパー」という言葉を音訳した「卒塔婆」(ストウバ)を略したもので、

「ストウパー」っていうのは、二千五百年の昔、お釈迦様が亡くなりになった時に、お骨を納めたり、供養のために建てた塔の事で、「ストウパー」という塔は進化したから、中国などの国を経て日本にも伝わって五重の塔にまでなっているのよ。

だけど、供養するたびに塔を作るのは無理なので、塔婆というものが出来たんです。

だから塔婆の上の方は五重の塔のような形をしているのね。

日蓮大聖人様もお手紙で、「幼くして亡くなった娘さんの十三年の供養に、南無妙法蓮華經のお塔婆を建てるといいよ」とは、

北風が吹けば南の海にいる魚は大海の苦しみを救われて、東風が吹けば西の山の鳥や鹿は畜生道から逃れられ、仏さまに救われます。亡きご両親も先祖さまもこの塔婆の功德によって霊山浄土で幸せになります。

そして、その塔婆を建てられた人達は、幸せに暮らせて、亡くなっ

身延大会開催御礼



大会組織副委員長 大森 映孝

から歓迎のご挨拶を頂き、法主内野日総猥下から御経頂戴の儀並びに輪番委嘱を頂戴し、会長末吉観道上人導師のもと執り行われました。さらには昨年までは行われなかった献花の奉納を、秋田県報恩院妙法聖徒団秋山朋子様、秋山泰子様より戴き、厳肅かつ華やかに厳修されました。

記念法話では島根県妙法寺聖徒団長・当会終身名譽顧問である吉田亮善上人に熱意ある法話を頂き、また本部長天野行淳上人の閉会宣言では、来年第五十回大会の日程も発表され、来年もこの聖地身延山でお会い出来る事を御祈念し、参加された方々の盛大な拍手の中報告式を閉会致しました。

その後、祖師堂・御真骨堂を参拝し、日蓮大聖人の御真骨を問近で拝見し、大聖人への報恩感謝の念を新たに、今年一年の益々の精進を誓う大会となりました。

来年は第五十回の記念大会となります。平成二十七年五月

ても霊山浄土でお父さんやお母さんたちと一緒に住むことが出来るという、計りしれない功德を頂くことができます。」と言われている。亡くなった人の供養のためだけでなく、私たちの幸せのためにもなるのね。お上人(しようにん)が言っていたわ、塔婆は法事やお盆とかの法要の時に建てるのはもちろんですけど、いつでも建てていいんです。それは私たちの幸せのためだったんですね。



二十三日、二十四日の日程で開催することが決定しております。

来年は参加された皆様からのご意見、更には新たな試みを含めた今まで以上に充実した大会にするべく、本部長一同、一丸となって企画・運営に邁進して参ります。来年もこの聖地身延山でお会い致しますよう。

来年度の「身延大会」は 第五十回記念大会!! 五月二十三日(土)・二十四日(日)に決定。

お詫び 7月号の千葉・正蓮寺様の聖徒団名に誤りがありました。お詫び申し上げます。

暑中お見舞い 申し上げます

～日蓮宗霊断師会～

日蓮宗霊断師会終身名誉会長
感通寺聖徒団团长

新聞 智雄

副团长

新聞 正興

〒一六二〇〇四四
東京都新宿区喜久井町三九
TEL〇三三三〇九一七八二
FAX〇三三三〇八七九六六

日蓮宗霊断師会終身名誉顧問
妙本寺福德聖徒団团长

吉田 亮善

〒六九一〇〇四二
島根県出雲市十六島町二五二
TEL〇八五三三六六〇五六八

日蓮宗霊断師会会長
利生寺聖徒団团长

末吉 観道

副团长

末吉 正道

〒九三〇〇〇五五
富山県富山市梅沢町三一六一〇
TEL〇七六四二二一八七七六
FAX〇七六一四二二一八二五〇

日蓮宗霊断師会霊断院院長
本山妙顕寺貫首
本要寺聖徒団团长

齊藤 日軌

〒三二七〇八四三
栃木県佐野市堀米町二六四
TEL〇二八三三二一五二四
FAX〇二八三三二四一九四

日蓮宗霊断師会副会長
真浄寺聖徒団团长

建 光行

〒八七一〇七一六
大分県中津市山国町中摩六三一五
TEL〇九七九一六一二七三六
FAX兼用

日蓮宗霊断師会副会長
正蓮寺聖徒団团长

大塩 孝信

〒二九〇〇一五一
千葉県市原市瀬又一三四一
TEL〇四三六五二一〇二〇七
FAX〇四三六五二二二八八

日蓮宗霊断師会副会長
仙寿院聖徒団团长

芝崎 惠應

〒二六〇〇二二
岩手県釜石市大只越町二一九一
TEL〇一九三三二二二六六
FAX〇一九三三二二二五〇

日蓮宗霊断師会霊断院副院長
陸中山田善慶寺聖徒団团长

三浦 惠伸

一級霊断師 三浦 惠廣
二級霊断師 三浦 歌子

〒二八二二三三
岩手県下閉伊郡山田町北浜四一
TEL〇一九三三八二二七六五

北上市龍王寺聖徒団团长 三浦 惠導
〒二四一〇〇五六
岩手県北上市鬼柳町鼠川原一七五二
TEL〇一九七七一二〇一七

日蓮宗霊断師会代表者会議議長
実相寺聖徒団团长

松永 慈弘

〒三三三〇〇〇四
埼玉県川口市領家二一四一
TEL〇四八二二二四五六六
FAX〇四八二二三一六八〇七

日蓮宗霊断師会本部長
本成寺聖徒団团长

天野 行淳

〒四六五〇〇一四
愛知県名古屋市中東区上菅一三〇三
TEL〇五二七七七一七四七四
FAX〇五二七七七一七五七二

日蓮宗霊断師会副本部長
常國寺聖徒団团长

濱田 壽教

〒七二〇〇四一一
広島県福山市熊野町甲一四八一
TEL〇八四一九五九一〇〇六
FAX〇八四一九五九一〇〇六

青森県聞法寺聖徒団

住職 工藤 堯幸 副住職 工藤 堯慎
執事 工藤 堯顯 護持会長 最上 一
総代 宮田 博光 木浪 達義
信行会長 最上 誠規 副会長 松山 涉
青森部長 掛村 隆二
外信徒一同

〒三〇三〇一四〇三
青森県津軽郡外ヶ浜町平館元字田五二二
TEL〇一七四二五二二七一二
FAX〇一七四二五二二六〇七

法華寺聖徒団团长

阿部 是秀

霊断師 阿部 是眞
霊断師 菊池 妙栄
霊断師 前川 是調

〒二八〇三〇四
岩手県遠野市宮守町下宮守三一六九一
TEL〇一九八六七一三二六六
FAX〇一九八六七一三二二七

『心といのちの相談所』
被災者一人一人の
心の復活を祈りつつづけております

日蓮宗霊断師会北海道教区長(常任理事)
妙正寺聖徒団团长

関 龍雄

〒〇七一四四二二
北海道上川郡東川町東町二一六一三
TEL〇一六六八二二二七二四
FAX〇一六六八二二二九一四

長栄寺聖徒団团长

光枝 海元

東京都霊断師会会長(理事)

光枝 浩生

〒一〇〇〇四〇二
東京都新島村本村三一四
TEL〇四九二一五〇一六八
FAX〇四九二一五〇一六一

本妙寺聖徒団团长

村口 泰慈

〒七九九一三三二
愛媛県西条市国安四二
TEL〇八九八六六五四〇九
FAX〇八九八六六六一六〇

日蓮宗霊断師会京浜教区長(常任理事)
本典寺聖徒団团长

戸田 教栄

〒二五六〇八一六
神奈川県小田原市酒匂三一十七
TEL〇四六五二四七四八三
FAX〇四六五二四九一三三三

日蓮宗霊断師会総務部長
照恵寺聖徒团团長

品田 祥皓

〒055-0104
北海道沙流郡平取町紫雲古津二二二七七
TEL 〇一四五七-二二三一二七
FAX 〇一四五七-二二三七九一

日蓮宗霊断師会教務部長
妙親寺聖徒团团長

廣田 学良

〒870-0834
大分県大分市上野丘西五五五
TEL 〇九七-五四五-〇七〇八
FAX 兼用

日蓮宗霊断師会聖徒部長
妙法寺聖徒团团長

蔵本 知宏

〒698-0021
島根県益田市幸町一八一七
TEL 〇八五六-二二三-〇二六
FAX 〇八五六-二二三-〇四八

日蓮宗霊断師会教宣部長

松本 恵昌

知見会信行寺聖徒团团長
和歌山県和歌山市杭ノ瀬五六一五
TEL 〇七三-四七一-八二五二
FAX 〇七三-四七一-八二五二
知見会海禅院聖徒团团長
和歌山県和歌山市和歌浦中三三四二八
(顕彰会事務局)
TEL 〇七三-四四七-一八九〇
FAX 〇七三-四九九-四九九六

日蓮宗霊断師会霊断院教学部長
顕本寺聖徒团团長

小泉 輝泰

〒295-0002
千葉県南房総市千倉川合六九〇一
TEL 〇四七-〇四四-一〇六二
FAX 〇四七-〇四四-一五二四

日蓮宗霊断師会霊断院霊断部長
妙泉寺聖徒团团長

石黒 泰良

〒461-0005
愛知県名古屋市中区東桜二一六四三
TEL 〇五二-九三二-八四九〇
FAX 〇五二-九三二-八四九一

日蓮宗霊断師会総務部総務課長
妙福寺聖徒团团長

野澤 壯監

東日本大震災等種々災害被災地被災者の復興を心よりお祈り申し上げますと共に全国聖徒団の法運隆昌をお祈りいたします
〒339-1331
栃木県さくら市馬場一〇八一

広島県霊断師会会長(理事)
壽泉寺聖徒团团長

根師 哲朗

〒720-0833
広島県福山市水呑町一六一四
TEL 〇八四-九五六-〇一九八
FAX 〇八四-九八二-八八九七

島根県霊断師会

会長 堀江 泰誠
副会長 新間 信應
梅木 真承
河瀬 功健
文谷 孝順
事務局 文谷 一
会 員 同

日蓮宗青森県霊断師会

会長 飛鳥 玄龍
幹事長 對馬 央文
監事 工藤 堯慎
事務局 工藤 堯顯
通信員 山崎 随祥
木立 智大
顧問 工藤 堯幸
会員 三十四名



宮・鹿・沖霊断師会

顧問 吉田 海心
監事 片寄 智雄
会長 吉田 静正
事務局 吉田 憲由

吉田 海心

吉田 静正

日蓮宗宗務参与
本東寺聖徒团团長
日蓮宗霊断師会九州教区長(常任理事)
〒882-0061
宮崎県延岡市松山町一三三三
TEL 〇九八-二二三-一三八二七
FAX 〇九八-二二三-一八七九〇

大分県霊断師会
会長 廣田 学良
副会長 飯盛 義教
杉本 顕誠
三ヶ尻 正生
後藤 一
事務局 後藤 一
会 員 同

阪口 慈幸

岐阜県霊断師会会長(理事)
常唱寺聖徒团团長
〒501-1734
岐阜県美濃市千畝町二七三八一二
TEL 〇五七五-三三一-四三〇
FAX 兼用

高鍋 鳳憲

三重県霊断師会会長(理事)
追分教会聖徒团团長
〒510-0821
三重県四日市市追分二一五一二
TEL 〇五九-三四六-三六七七
FAX 兼用

早瀬 光玄

湖北随一法華道場
常昌寺聖徒团团長
〒526-0841
滋賀県長浜市新栄町四〇二
TEL 〇七四九-一六二-四四九二
FAX 兼用

光枝 妙珠

日蓮宗霊断師会総務部庶務財務課長
長栄寺聖徒団
〒100-0402
東京都新島村本村三一四
TEL 〇四九九-二一五-〇一六八
FAX 〇四九九-二一五-〇一一一

阪口 映徳

日蓮宗霊断師会総務部組織課長
常唱寺聖徒团团長
〒501-1734
岐阜県美濃市千畝町二七三八一二
TEL 〇五七五-三三一-四三〇
FAX 兼用

日蓮宗霊断師会教務部指導課長
妙法寺番神聖徒团团長

新間 信應

〒690-1404
島根県雲南市三刀屋町三刀屋一六九九
TEL 〇八五四-四五一-三六五七
FAX 〇八五四-四五一-三六六六

日蓮宗霊断師会教務部講習課長
蓮正寺聖徒团团長

飯盛 義教

〒879-1550
大分県由布市挾間町下市五三二六
TEL 〇九七-五八三-〇五四六
FAX 〇九七-五八三-〇六九八

大森 映孝

日蓮宗霊断師会聖徒部事業課長
長栄山妙福寺聖徒团团長
〒339-1211
栃木県塩谷郡高根沢町亀梨五一四
TEL 〇二八-六七六-一二四七
FAX 兼用

飛鳥 玄龍

日蓮宗霊断師会聖徒部布教課長
七面山道円寺(芦屋の七面様)聖徒团团長
〒381-3112
青森県つがる市木造川除栄盛七
TEL 〇一七三-四二二-三六四九
FAX 兼用

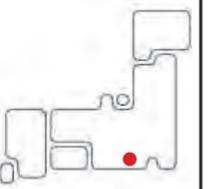
蘆田 恵教

日蓮宗霊断師会教宣部教宣課長
妙宣寺聖徒团团長
〒641-0042
和歌山県和歌山市新堀東二一八
TEL 〇七三-四二二-七九六八
FAX 〇七三-四二二-七九〇五

吉田 憲由

日蓮宗霊断師会教宣部出版課長
龍雲寺聖徒团团長
教誌・よろこびを読んで
一緒に信仰を学びましょう!
〒889-1201
宮崎県児湯郡都農町川北三七二〇

全国よろこび歳時記 名古屋市中成寺聖徒団



四月二十日(日)、名古屋市中成寺聖徒団(天野行淳本部長)において『第八回 お寺 de フェスタ』が開催された。今年も賛同者の石濱豊さんが本イベントのために書き下ろしたテーマ曲「ありがとう」の演奏で第一部が幕を開けた。

西洋楽器の「ライアー」の演奏、金管アンサンブル演奏、女性コーラス、力強い和太鼓演奏、結びに出演者全員によるテーマ曲「ありがとう」のコーラージュ演奏が行われた。

第二部では射的や輪投げコーナーに子供達のにぎやかな声が響き渡り、境内での飲食物販売コーナーでは「本成寺バー」が初出店した。本物のバーテンダーがシェーカーを小気味よく振る様子に、集まった参加者は目を奪われていた。

第三部の祈りの法要では、子供から大人まで一人一人が心穏やかに掌を合わせ、堂内には参加者のお題目の音が響いていた。結びに住職より「これからこのイベントを通じて皆様に幸せを発信していきます」と力強く語られると、参加者は来年の開催を早くも心待ちにしている様子であった。回を重ねるごとに地域に根付き、多くの人に支えられながら成長してきた「お寺 de フェスタ」。今後も「幸せ発信地」として盛り上がりを見せそう



第8回 お寺 de フェスタ



皆様の身近なニュースを(よろこび歳時記)にぜひ、お寄せください!

第三十六回 日蓮大聖人の歩まれた道

新たな修学への道



靈断院 小泉 輝泰

「幼少より名号を唱候し程に、いさゝかの事ありて、此事を疑し故に一の願をおこす。日本国に渡れる処の佛経並に菩薩の論と人師の釈を習見候はばや。(中略)所詮肝要を知る身とならばやと思し故に」
(妙法比丘尼御返事)

鎌倉での修学を終え清澄山に戻った蓮長

ではありましたが、いまだその成果に満足をしていないわけではありませんでした。知識の高さでは既に山内の他僧を抜き出しており、『戒体即身成佛義』の内容を拝するに、浄土や禅の教えは勿論のこと、果ては八宗の肝要をも修得していたことが覗えます。おそらく鎌倉よりの帰山以来、蓮長はその教えを授けられんと願い、その庵を訪れる者が後を絶たなかったことでしょう。幾度も振り返りながら母に別れを告げ、清澄の山を登った幼き修行僧は、いつしか師に達する程の深い知識を身に付けた、立派な青年僧へと成長していったのです。

それでも幼き頃よりの疑問は、一向に晴れることがありません。「世に八宗、十宗と沢山の門派があり、それぞれが自宗の優位を声高に謳っているが、はたして釈尊のご真意はいったいどこにあるのであろうか・・・」と。殊にこの時期には、関白九条道家によって京都五山の一つである東福寺が新寺建立され、臨済宗の高僧である円爾弁円が開祖として招かれるなど、いよいよ禅宗の勢力が盛んになっていきました。また鎌倉で幾たびも見た光景は、弥陀の慈悲に絶えんと念ずる哀れな大衆の姿でした。

しかし一向に治まらぬ世情を見るに、蓮長の懐く疑問は大きくなるばかりです。蓮長は浄土、禅、そして八宗の学問をも修めた身の上であって、いまだ答えが見い出せずにいる我が身を嘆きました。そして鎌倉では学びることが出来なかつた真言の奥義、更には自身の出家の根本とも言える天台の真義を、今一度学ばなければならぬとの結論に至ったのです。前回でもお話ししました通り、この時点

法華経のお話 34

靈断院主任

塩入 幹丈



無量義経の段

大轉輪王小轉輪王。金輪銀輪諸轉輪王。
(無量義経德行品第二)

①いいですか?暴力を振るって良い相手は悪魔共と異教徒共だけです

アンデルセン神父
希臘人の気つきも束の間。「ダイモンの賜物」と讃えられた西洋の俱生靈神信仰は、あえなく悪魔デーモンへの恐れの中に埋没してしまいました。

まあこのことに限らず希臘そして羅馬文明の偉大なる遺産は、そのほとんどが回教徒たちに受け継がれ、今の吹羅巴では文芸



天使と言うと頭の上には蛍光灯のような輪、背中には小さな羽根の美少年!というイメージが多いかもしれませんが、実はこれは羅馬の愛の神キューピッド(キューピット)と習合したイメージ。
実際の天使たちはその形態、能力、序列によって九つものカテゴリーに別けられた存在。



その最上位の三グループを見てみれば、六つの翼こそ最強の証。全身に炎をまとって常に光り輝く熾天使。

顔は人間にして体は有翼の獣身(スフィンクスを思い起こすべし)。エデンの園の門番を勤める(要するに狒犬や唐獅子、シーサーの仲間ですな)智天使。

無数の眼。無数の羽に覆われし巨大なる車輪の座天使:といった具合で、まさに人間の姿からはかけ離れた存在。

ソロネに至っては生物型ですらなく、もはやオブジェそのもの(故にソロネを感得した人の記録は最古のUFO目撃例の一つとも言われています)。

そんなバリエーションあふれる天使軍団にあつて、単に美青年(あるいは美少年)に羽が生えてるだけという最も人間的な姿、つまり私たち日本人にも馴染みの天使像に最も近い天使たちなのが、九つの階級中第九位(それだけに人間に近いわけです)、お馴染みの守護天使なんです。

③天使とは、美しい花をまき散らす者ではなく、苦悩する者のために戦う者である

での両学の不十分さは、『戒体即身成佛義』での過ちに明らかでありました。「理同事勝」に傾倒し、同書の結論を真言の戒に求めてしまった浅学さを知るのには、偏にこの後の再遊学での成果によるものです。衆生救済の大白法である『法華経』の真の価値を見出し、私たちの知る末法の大導師となられる、日蓮大聖人の誕生に至る学問の旅が、いよいよ始まるうとしていっているのです。



例えばセラフにはミカエルやガブリエル。ソロネならサンダルフォン等々と、各クラスごとにメジャーな天使がいるわけですが、ことエンジェルに限っては基本的にみな無名(守つてると人と同じゆえ?)。しかもその総人数は人類(但し基督教徒に限る)の二倍のこと。
そう、まさしくエンジェル信仰こそは基督教における俱生靈神信仰そのものだったんです。
しかし守護があるのは自分たちだけと考えているのも、彼らしい処ですね。
かようにエウダイモンへの信仰はエンジェル信仰へと変換されて、基督教に取り込まれていったわけですが、かような例はそうそうなかつたようでした。広く中東から西欧にわたる多様な文化圏内の様々な神々は、酷いことにその殆どがデーモン(悪魔)へと分類されてしまいました。...
そんな元神々だつたデーモンを、賢王ソロモンは手足の如く使役したといわれます。墮天したと言っても本来は神であつたデーモン。
ソロモン王は如何にして彼らを自在に操つたのでしょうか?...

第五十二回全国日蓮宗青年僧 中部結集岐阜大会が開催される



第五十二回全国日蓮宗青年僧 中部結集岐阜大会 実行委員長(本部・組織課長) 阪口 映徳

全国の日蓮宗青年僧侶で構成される全国日蓮宗青年会(全日青)。宗祖日蓮大聖人の願いである世界平和・安穏な社会づくり人づくりのため、体力と持久力を活かして社会活動や奉仕活動、布教活動を行っていただきます。また、全日青では青年僧が互いに研鑽し合い、志を高めるため、毎年全国各地に集い、結集大会を開催しています。

結集大会での活動は、お題目を唱えながら団扇太鼓をたたいて歩く「唱題行脚」をはじめとし、慰霊法要やボランティア活動など様々です。本年は「第五十二回全国日蓮宗青年僧 中部結集岐阜大会」とし、岐阜県を会場に五月十五日(木)・十六日(金)に開催しました。

会場となった岐阜のシンボルともいえる岐阜城(稲葉山城)の歴史は古く、建仁元年(一一二〇年)二階堂行政が稲葉山に砦を築いたのがはじまりとされています。戦国時代には、斎藤道三の居城であり、織田信長から「美濃を制する者は天下を制す」と謳われ、天下統一の要所とされた場所です。しかし実状は、数々の攻撃により七度の落城を経て、当時の物は城址の石垣を残すのみとなっています。この岐阜城を制してきた武将達には法華経の信仰者が多く、その家臣や側近達もまた同じ信仰者でした。岐阜城落城の際には、ある者はお題目を唱えて討死し、ある者はお題目を唱えながら池に身を投げたそうです。また、近代では昭和二〇年(一九四五年)七月九日、第二次大戦中に大規模な空爆を受け、寺院や家屋は焼き払われ、多数の死傷者を出したのです。

今大会では、大会前日となる十四日、全日青第三〇代・小泉輝泰会長を含む代表者五名による岐阜城金華山「題目塚」での戦没者慰霊法要、翌十五日には二百六十五名の青年僧が約十キロの道のりを唱題行脚(岐阜市内)しました。今回の行脚の行程を事前に岐阜県警や公安当局に届け出たところ、パトカーが先導し警察官がともに歩き、行脚のサポートをしていただけのことになりました。しかも、二つの警察署が連



最前列左から阪口映徳実行委員長、第30代小泉輝泰会長(本部・霊断院教学部長)、第31代松森孝雄会長(本部・霊断院主任)

携をして約二〇名の警察官を動員してくださり、大変心安く行脚に専念できました。十キロの行脚コースは休憩が一度しか取れず、他に信号待ちの時間を休憩にあてるしかありません。企画したのは私たちがですが、思いのほか体力の消耗が激しく、このままでは全員で最後まで歩ききることが難しい状況となりました。しかし、行脚が中盤に差し掛かった頃、天には雲がかかり雨が降り出しました。行脚をさまたげない、気持ち良い程度の小雨です。行脚をしながらふと街頭に目をやると、傘をさしながら私たちに手を合わせてくれる小学生がいました。雨に濡れながら笑顔で待っていてくれるおばあさんがいました。私たちの後ろについて歩いてくれる子供たちがいました。疲れとともに重たくなった足を、皆さんの姿が前に前にと運んでくれました。かくして、一人の脱落者も出さずことなく、無事に行脚を終えることができました。この結集大会の開催にあたり、岐阜県日蓮宗青年会(岐阜日青)の会員は三名でした。「岐阜日青の現状では開催が危うい」との判断に、卒業された先輩方や中部ブロックの各日青会(長野県・愛知県名古屋・愛知県尾張・愛知県三河・三重県)がサポートしてくださり、開催ができることとなりました。皆さんが影に日向にご尽力いただけただからこそ、今大会が開催でき、無事円成に導いていただけただけだと感謝が絶えません。

「祖父の言葉」

私がまだ小さかった頃、祖父に「なぜ大きな声でお題目を唱えないといけなの?」と尋ねたことがあります。祖父は、「世の中にはわしのように耳の遠い仏様もみえる。そんな仏様にも平等に聞こえるように、大きな声でお題目を唱えなさい」と言って聞かせてくれました。

岐阜城(稲葉山城)は築城以来、お題目の信仰に導かれた武將に治められてきました。家臣や側近達、そこに住む民衆もお題目の信仰をしました。しかし現代では、県内の仏教寺院数二千三百ヶ寺に対し日蓮宗寺院はわずか五十ヶ寺。本当はお題目を聞きたい仏様が沢山みえるのに、お題目が浸透しにくい環境なのかもしれません。今大会により、日蓮宗青年僧の異体同心のお題目の声、皆で奉げた至心の祈りは必ずや「耳の遠い仏様」にも聞こえたことでしょう。今大会で得た経験が、今後もよりいっそう発展し、国家の安穏・世界平和へつながるよう、強く願っております。

最後になりましたが、会員数の少ない岐阜県を会場とし、今般無事円成できましたことは、ご協力いただきました皆様、ご参加の皆様のご尽力の賜物と深く感謝申し上げます。もちろん、今大会の無事円成のため、もっとも良い日どりを霊断していただいた小泉輝泰師に感謝申し上げます。



「題目塚」での戦没者慰霊法要



金華山の「題目塚」



行脚(長良川畔)



警察署が行脚に協力

「第三十回沙弥校・第十六回僧風林開催」小坊主さんの夏の修行

七月二十六日から三十日、当会伝統の「第三十回沙弥校・第十六回僧風林」が東京新宿の感通寺(新間智雄終身名誉会長・御自坊)を会場に四泊五日の日程で開催された。今年も小学三年生からの沢山の男子・女子が全国各地より集まり法友との一年ぶりの再会を果たした。

五日間の凝縮された修行期間中、子どもたちは「読経」の時間には、声が暖(か)れるのも惜しまず一生懸命大きな口を開けて読経に励み、遂には『如来壽量品第十六』一品をすらすらと読誦出来るようになった。

また、僧侶としての心構えや礼儀作法、お釈迦様や日蓮大聖人様の伝記やみ教えを幅広く学ぶ「教養」の時間には、真剣な表情で講義に聴き入り、「声明」の時間では、所作を磨き、整えることが心のありよう(姿勢)を変える力となる。このテーマのもとに、慣れない正座で足の痛い中、難しい法要の所作を幼い体に植え付けるように体得していった。



写真は第29回沙弥校

感謝寺様、ご協力いただいた全ての皆様により感謝申し上げます。詳しくは九月号で特集いたします。

全国のよろこびちゃん vol.3



左から、吉野そらちゃん(6歳)、総南くん(1歳)、隆南くん(3歳)

オシヤレ大好きなお姉ちゃんは、男の子2人のお母ちゃん(!?)のようです。

全国のよろこびちゃんを募集しています!

本誌イラスト 小川けんいち

砥森山 法華寺
生きて救われの道場
住職 阿部 是秀
副住職 阿部 是眞
〒028-0304
岩手県遠野市宮守町下宮守31-69-1
電話 0198-67-3166
FAX 0198-67-2227

安房乃國随一 三十番神祈願道場
顕本寺聖徒団
団長 小泉 輝泰
「1人で悩まず、まずは相談」
〒295-0002
千葉県南房総市千倉町川合690-1
TEL 0470-44-1062
FAX 0470-44-1524

信用第一の専門店
◇格調高い関東風仏具◇
宗務院指定
仏壇・仏具 仏像彫刻
内陣荘厳具 設計製作
(株)中野三佛屋
東京都台東区寿2丁目7の12
電話 03(3843)6951
FAX 03(3843)6973
定休日 日曜日

快活な居住空間と充実したサービスで安心な毎日をお届けします。
4タイプのライフスタイル
有料老人ホームさくらグループ
Aタイプ
Bタイプ
Cタイプ
Dタイプ
株式会社 旭川グループケア
北海道旭川市5条通13丁目64番地 TEL 0166-26-6640
URL: http://housesakura.com / mailpost@housesakura.com

正蓮寺
日蓮宗霊断師会 副会長
日蓮宗宗務院 議員
正蓮寺聖徒団 団長
大塩 孝信
〒290-0151 千葉県原市瀬又134-1
TEL 0436-52-0207
FAX 0436-52-2288